

# L'aile d'Howl



ついに花巻で全国高校選抜大会が開幕！これから熱い3年間が始まります！楽しみに！

【ライル・ドウル：ホウルの翼(仏語)】

2010年3・4月合併  
全国選抜大会特別号

## 第33回全国高等学校ハンドボール選抜大会

1

### イーハトーブの風に乗れ 花巻く世界へ君は翔ぶ！

ついに迎えた第33回全国高校選抜大会！実行委員会事務局を中心に準備を進めてきたこの大会も無事に閉幕し、関係者一同安堵しております。

まず結果から申しあげると男子は四国ブロックから勝ちあがった香川中央が優勝！最優秀選手に選ばれた内海選手を中心に、崩れた体勢からもシュートをねじ込む気迫とフィジカルの強さで見事頂点に輝きました！準優勝の愛知高校も各年代強豪チームが揃う東海ブロックの代表として素晴らしい試合を見せてくれました。さらに、今回の注目校、地元岩手県代表の不来方高校は全国3位に輝きました！おめでとうございます！主将の森田啓亮選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)は香川中央と戦った準決勝でも10得点の大活躍！毎日ニュースにも取り上げられ、地元の応援も非常に盛り上がりました！



一方女子の部は、大会前から評判が高かった四天王寺高が、同じく優勝候補として挙げられていた洛北高を準決勝で破り決勝進出！その勢いのまま決勝で華陵高(山口)を破り、優勝の栄冠を勝ち取りました。不来方高校女子は残念ながら緒戦を飾ることはできませんでしたが、少数精鋭で試合に臨んだ試合で健闘してくれました！

開催地代表の盛岡第一も含め、岩手県チームは地元の声援を受け、よく頑張ってくれたものと思います。

それでは大会の様子を詳しく追っていきましょう！

3月25日。開会式の会場となった花巻市総合体育館。なんと外は一面の雪景色！季節はずれの大雪に、大会関係者は不安の表情。それをよそに、九州方面から来た高校生たちは雪遊びにいそしむ、なんとも微笑ましい雰囲気でした。

会場には選手他応援団の親御さんたちも多数駆けつけ、盛大に開会式が催されました。現在スペインでプレー中の宮崎大輔選手の応援ビデオレターに始まり、選手たちを岩手に歓迎するため、地元は北上翔南高校鬼剣舞部による演技が披露されました。



同じ高校生による演舞とあって真剣に見入る選手たち。続いて花巻市立桜台小4学年による合唱。花巻クラブジュニアのメンバーの顔もちらほら。素敵な合唱で会場は暖かい空気に包まれました。素晴らしい歓迎ムードの中、いよいよ選手宣誓。地元・不来方高校男子ハンド部の森田主将による堂々とした宣誓で、ついに全国決戦の火蓋が切られました。





森田選手の宣誓

いよいよ試合開始。極寒の富士大会会場にはたくさんのストーブが並んだ。地元の人間にとっても寒いのに、南国代表の選手たちには非常に厳しい試合環境。そんな寒さを吹き飛ばすかのような選手たちの熱い戦い、そして集まった大勢の応援団。

藤代紫水と → 高岡向陵の応援団



←岩国工のエース・久保選手  
ユース代表でも活躍中



←揃いの半纏で応援！

3月25日～27日までは、花巻総合体育館、富士大学、そして花巻市民体育館の3会場で試合が行われました。

今回の選抜大会では、試合の合間を縫って様々なイベントが行われました！

まずは、トヨタ車体の銘苺選手、そして岩手県出身、2年連続で日本リーグの得点王に輝いた上町史織選手による講習会！試合終了後の夕方の時間を使って、初日は小学生を、翌日には中高生も講習会でお世話になりました！



「ハンドボール界の松岡修造」の異名をとる銘苺選手の熱い指導、そして、「美しすぎるスーパーエース」上町選手の優しい指導のもと、地元の若きハンドボーラーたちはとても貴重な時間を過ごしました。特に今回、講習会の中ではディフェンスの仕方を教えていただき、普段ディフェンスの練習をする機会が少ない小学生たちには非常に良い勉強になったようでした。



また、地元テレビ番組の生放送にも出演していただき、メディアを通してハンドボールの魅力も十分に伝えていただきました！ありがとうございました！



翌日の中高生向けの講習会での一幕。初日に続き、銘苅選手の熱血指導。コミュニケーションの大切さを熱く語っていました。銘苅選手もかつて JOC でオリンピック有望選手に選ばれた経験を持ち、昨年のオリンピック有望選手に選ばれた齊藤 凌選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)にいろいろ話していました。

試合に話を戻すと、不来方高校は順調に駒を進め、長崎の雄・瓊浦高校を破った浦和学院との準々決勝を迎えます。地元メディアも連日不来方高校の活躍を取り上げ、会場にも多くの応援団が詰め掛けました。不来方高校の父母会は、息子と同じ番号のユニフォームで応援し、会場はチームカラーの緑で埋め尽くされます。試合は森田選手を中心に、村田選手とのポストプレー、佐々木選手の速攻などが決まり、不来方が順調に得点を重ね、危なげなく勝利を果たしました。



選抜大会初の試みとなるイベントとして、日本代表チームを率いる酒巻監督によるトークショー、そして、大会ポスターのモデルでもある上町選手と、JOC オリンピック有望選手に選ばれた齊藤 凌選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)によるトークショーが開かれました。インタビュアーは、日本リーグ盛岡大会の実況でもおなじみの宇野和男アナウンサー。



トークショーでは、上町選手は来年のリーグ優勝報告、そして齊藤選手は、来年のこの舞台に選手として立つ、という決意表明をしました。これからの活躍に期待しましょう！  
 なお、トークショー参加者には、大会スポンサーから様々な景品が抽選でプレゼントされました！  
 また、日本アンチドーピング機構によるアウトリーチもハンドボール競技としては初めて行なわれ、上述の銘苅選手、フェンシング日本代表の池田めぐみ選手が会場内のブースにて、ドーピングについての啓蒙活動を行ないました。  
 高校生たちがクイズに答えながらドーピングについて勉強していましたね。スポーツマンとして知っておくべき薬物の影響。素晴らしい取り組みに、今後も協力していきたいですね。

主会場となった花巻市総合体育館で迎えた最終日は見事な晴れ。雪もすっかり溶け、決勝の日を迎えました。女子決勝は、準決勝で優勝候補の京都・洛北高校を1点差で破り、駒を進めてきた大阪・四天王寺高校と、山口・華陵高校の対戦。四天王寺高校はエース水田選手、ポスト竹下選手を中心に華陵ディフェンスに襲いかかります。華陵も宮崎 GKのキーピングが光りますが、四天王寺の激しいディフェンスにつかまりなかなか得点を伸ばせません。大会前から評判が高かった四天王寺高が優勝の栄冠を勝ち取りました。



男子決勝は、四国ブロックから勝ちあがった香川中央高校と、激しいディフェンスが売りの愛知高校の対戦。が最優秀選手に選ばれた内海選手のシュートは圧巻！崩れた体勢からもシュートをねじ込む気迫とフィジカルの強さが光りました。愛知もエースの宮地選手を中心にロングシュートなどで対抗します。しかし、やはり地力に勝る香川中央高校が見事に頂点に輝きました！



素晴らしい試合を見せてくれた選手たち。不來方高校は、チームと応援が一丸となって戦い、栄えある全国 3 位を勝ち取りました。来年こそは全国決勝の舞台に立つことを期待しています！



閉会式では、優秀選手に森田選手が選ばれました。例年がない大雪で心配されましたが大きな怪我や事故もなく、岡市実行委員長の閉会宣言で無事に大会が終了しました。会場の片付け後、競技役員、補助員の高校生たちに岩手県協会の太田会長より労いの言葉、そして不來方高を代表して森田選手から大会運営に対する御礼の言葉がかけられました。



この大会を開催するにあたり、本当に多くの関係者の皆さんが一生懸命準備に当たりました。特に高体連専門委員長の中島先生は昼夜問わず、しかもご家族の協力も得ながら実行委員会事務局で準備に取り組み、大会期間中もフル活動され今大会の成功に大きく貢献されました。地元高校生の皆さん、そして関係者の皆さんも非常に一生懸命大会運営にご協力いただき、その努力には素晴らしい一言しかありません。まだまだ全国大会が続きますが、皆さんで楽しんでいきましょう！

本当に皆さん、ありがとう、  
そしてお疲れ様でした！

L' aile d' Howl (ライル・ドウル)  
2010年 3・4月特別号  
2010年 4月 20日 発行

発行：花巻市ハンドボール協会